高尾山の天狗

７月号　　第２５１号
発行日　平成２４年７月１日（日）
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市台町３－２２－１－１２１
ＴＥＬ　（０４２）６２５－９５２９
発行人・三上　靖宏
編集者・山縣　文雄

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

私と囲碁

元八王子囲碁同好会会長　三浦和夫

囲碁を覚えたのは学生時代、下宿の先輩に相手をさせられたのがきっかけでした。現役時代は昼休みや年２～３回の大会で囲碁を楽しむ程度でした。八碁連（当時は碁老連）に入会して早いもので、もう１２年程になりますが、棋力の方はさっぱりで停滞気味です。しかしながら、振り返ってみると棋力以上に得るものが多かったとおもいます。本当に囲碁をやってきて良かったとおもいます。

まずは現役時代の仲間達と年５～６回囲碁を打ち、その後居酒屋で一杯、楽しいひと時です。また、同好会や八碁連の多くの方々と知り合いになり、囲碁は勿論ですが、いろんなことを学ばせていただきました。

本部理事を４年間勤めさせていただきましたが、この間、会報の編集を担当しました。現役の頃は、パソコンは社内間の連絡用にメールをしたり、業務実績を確認する程度でした。退職後もメールをたまにやるぐらいで、パソコンは殆んど使っていませんでした。会報の編集を担当することになり、前任者のW氏に２回程拙宅に来ていただき、ワードやエクセルを教わり、わからないことがあった場合は電話やメールで教えていただきました。

それ以来パソコンに興味を持ち、今ではかなり色々なことができるようになり、会報の編集業務も何とかやり遂げることができました。

そんなことで、パソコンに精通している方にはどうということでもないでしょうが、家族の写真アルバムやビデオテープをＣＤにしたり、音楽テープをウォークマンに取り込み散歩の時楽しんだりしています。インターネットでは、ホテルや航空券の予約、ネットショッピングもできるようになりました。また、いろんなことを知ることが出来るということを知りました。投稿文で、聞いたことのない人名や地名などインターネットで調べる事ができ、投稿者の博識に感心すると共に、私自身非常に勉強になりました。本当

に辞書要らずです。暇なときは時間を忘れ、ネット碁を楽しんでいます。

会報の編集業務をしていなければ、多分、今の生活とはまた違ったことになっていたとおもいます。パソコンは私にとって、今では生活の不可欠な道具の一つになっています。囲碁をやっていて本当に良かったとおもいます。これからも、現役時代の囲碁仲間、同好会、八碁連の皆さんとの付き合いを大事にして、囲碁を楽しんでいきたいとおもいます。

第２２回　活きいき囲碁大会のご案内

由木大会

日時　　平成２４年８月５日（日）受付　午前９時00分～9時30分
会場　　由木中央市民センター（下柚木2-10-6　Tel 676-8123）
申込先　　会長・杉渕　清　別所1-17-29　Tel・Fax 670-8733
申込期限　７月２２日

台町大会

日時　　平成２４年８月１９日（日）受付　午前９時00分～9時30分
会場　　台町市民センター（台町3-20-1 Tel・Fax 627-3808 ）
申込先　　会長・高本　衛　台町 4-44-131 ﾊﾟﾚﾄﾞｰﾙ西八王子1202
Tel・Fax 667-7432
申込期限　８月５日

２大会とも
主催　　各地区の囲碁同好会
後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会
参加資格　市内に居住している囲碁愛好者
参加費　　７００円（弁当代を含む）非会員　８００円
競技方法　２ないし３のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法　できるだけ同好会の会長を通して申し込んでください。

第２２回　活きいき囲碁大会の結果

元八王子大会

参加者　　６月３日(日)　於 元八王子市民センター

元八子	浅川	恩方	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	合計
１９	４	１５	６	１	２	３	８	１０	６８

Aクラス　１９名（5段～7段）
優勝：中邑　豊　恩方/７段　　準優勝：徳満英世 恩方/５段　３位：入山慧三　元八王子/６段
Bクラス　２５名（2段～4段）
優勝：小田辰郎　長房/４段→５段　　準優勝：溝呂木久雄　恩方/２段　３位：田中正勝　恩方/４段
Cクラス　２４名（5級～初段）
優勝：根本　清　大和田/４級→３級　　準優勝：中川寿夫　　大和田/初段　３位：建守貞彦　台町/初段

中野大会

参加者　　6月１７日(日)　於 中野市民センター

中野	浅川	元八	恩方	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	合計
１４	4	4	3	1	1	1	9	１１	4	５２

Aクラス　　１６名　（5段～7段）
優勝：山本数英　川口/６段　　準優勝：井上栄次郎　中野/７段　　３位：中邑　豊　恩方/７段
Bクラス　　１８名　（2段～4段）
優勝：小野雄二　浅川/４段→５段　　準優勝：館内　茂　北野/４段　　３位：梶原和夫　浅川/３段
Cクラス　　１８名　（初段以下）
優勝：佐藤正宏　元八/４級→３級　　準優勝：一条幸吉　北野/初段　　３位：久保田勇　元八/初段

投稿

囲碁所感

北野囲碁同好会　稲葉重雄

今日は何日？

日曜日の碁会で対局カードに書き込むとき、対局者に「今日は何日だっけ」とつぶやく。相手も「？　？　？」一瞬考え込む。月日の経過を意識せずに過ごすリタイヤ老人（小生のこと）だが、これでいいのだと後で思う。老いは現実生活から次第に離れていくことはごく自然なのだから。

幼き頃故郷岩手の北上川で泳いでいたとき流れてくる鮭を手掴みで獲ることがあった。夏の終わり、産卵のため遡上して本能に従い最後の子孫を残す作業を終えた鮭のオス、メスが精も根も尽き果て、死を流れに任せていたのだった。「馬鹿そんな魚は食えないよ」と大人たちから笑われたことが遠く思い出される。

自然界の姿であるが人間とて例外ではない。

また囲碁将棋の世界では老いても人間の本能ともいえる闘争心は生き続けるのはなぜだろうと考えることもある。

子孫を残す子育てを終えても、尚自然界にそぐわない人間は何ものなのかとふと思う。

老人ホームで喧嘩の末刀傷沙汰まで起こる記事を見たことがある。政界や企業あるいは家庭でも頑固、頑迷な

老人の存在が話題になることがある。動物界でそれがあるようには見えない。

人間は精神的な大きな進化を繰り返して他の動物と違い“欲”を育ててきた。死は例外なく訪れるのだがその最後まで欲を捨てないところに原因がありそうだ。

ビギナーズラック

私が若い頃、お客様との交際や接待の目的でマージャンを始めた。全くの初心者はその都度授業料を進呈することになる。ところがあるとき、「国士無双」をつもった。最後のパイパンのすべすべが今でも思い出される。いわゆる　ビギナーズラック、初心者の幸運というやつだ。

囲碁将棋には全くこれがない。どこまでも実力、技術あるのみだ。対局の相手が大ポカを打ってくれたときや調子が悪いときに勝てたときを　ビギナーズラックとはいわない。つまり囲碁はギャンブルとは異質のゲームだからでしょう。パチンコにしてもそうだ。パチンコのプロが居るそうだが多くは　“つき”を頼りに楽しむものだと思う。

囲碁将棋はギャンブルではない。勝負事として蔑む人もいるが思考力を競うゲームとして体力を考慮しないで楽しめることに幸せを感じるべきと思う。負けると悔しいのも大きな健康上の刺激と捉える。

わざわい転じてフクとなす

長房同好会　池口　隆久

雨の中びしょ濡れのままで３時間も山中を歩き回り無理をしたのだろう。気管支炎となり肺炎にまでなって、主治医に厳しく諌められたことがある。死んでしまうかもしれませんよと。それではと、雨の日は残念ながら、高尾詣ではやめることにした。

朝早くから空を見上げては、雨が上がらないかと気をもんでいる。朝食の前後に幾度となく雨空を見上げては、隣家の軒先にうつる雨の程度を確かめるのに忙しい。隣の住人は、自分のうちの軒先を幾度となく眺めている隣家の主人をいぶかしく思っているかもしれないと、時には気になるが、どうにもならない。やはり雨空をうらめしそうに見上げている。雨の日の朝は。

最近では、少しあきらめのつく方法を考え出した。日記帳の健康登山のらんに（休）のゴム印を押してしまうのである。すると空を見上げることもしなくなる。諦めがつくのである。日記帳には、できるだけ数字を記入するのが好きである。その日の最高気温・最低気温、日の出・日の入りの時間、病院の予約時間・金額・薬代、体重・体脂肪率、それに健康登山の回数、万歩計の数字など、とにかく数字が好きだ。

さて、（休）のゴム印を押してしまって、一応あきらめはつくが、さりとて全く気にならないわけでもない。残念は残念である。あっさりと、考え方を１８０度変えることにした。私は、毎朝、飯縄権現様にお祈りする際には「今日もおかげさまで歩けました。ありがとうございました。」と祈っている。雨の日には、心の中でこっそり「一日生き延びました。ああ良かった。」と思うことにしている。どうしてそう思うのかって。

いままで健康登山百回の満行を達成した人の立場に自分を置きかえて考えた。達成した後の安堵感というか、気の緩みというか、実はそれが精神面に良くないのではないかと思える。たしかに２１００日の行の終了はうれしいし、やれやれと思う気も強かろう。その安堵感というか達成感というか、それが良くない。厳しく体を鍛えてきた人が、急にそれをやめたらどうなるか、入院していた時、看護士に「動かないと一日で六分の一の筋力が

落ちる」とまで言われたが、筋力が落ちるとどうなるか。負担は骨に過重負担となり、背骨は曲がる、体全体が弱る。その人は、「高尾山健康登山２１００日の行達成」の満足感だけを胸に、体は急に衰弱しはじめる。これではいけない。

じつに、一日山を歩ける幸せを思えば、歩いている瞬間は「自分は生きている」と実感できる。空は青い、木々の緑は美しい、空気はきれいだ。そういう中で歩ける幸せを体の隅々まで満喫するしあわせ。一日ぐらい歩けなくても、それがどうだというのだ。くよくよするな。むしろ「あと一日、余分に生きられる。寿命が一日延びた」と考えれば、これはうれしいことではないか。だから、そうだ、だから雨の日も楽しい。

余計なことだが、つい先を考えたくなる。百回終わったらどうなるかと。私は次の目標は何にするか考えておこう、百回終わる前に。人は、生きているかぎり、絶えず前に歩み続けなければならないのだから。

平地を歩こうが、山を歩こうが、川べりを歩こうが、その日一日無事に歩けたら権現様に感謝しよう。「ありがとうございます。今日も歩けました」と。

◎２３年度活きいき大会参加者数

報告　副会長　信江　峻

	浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	由木	北野	長房	川口	非会員	参加計	地元率
浅川大会	３５	０	１	１	２	３	４	０	６	４	４	０	６０	５８
恩方大会	５	２７	６	２	１	２	２	０	４	４	１５	１１	７９	３４
元八大会	５	１６	２２	１	７	０	２	０	６	６	５	２	７２	３１
中野大会	３	０	７	１２	５	３	１	０	６	７	４	０	４８	２５
大和田大	７	３	３	４	２２	４	１	０	８	６	５	１	６４	３４
石川大会	５	３	２	５	７	１９	０	１	６	０	１	０	４９	３９
台町大会	８	７	３	１	６	６	１９	３	４	３	２	０	６２	３１
由木大会	４	０	０	２	４	３	２	２１	１１	１	１	５	５４	３９
北野大会	８	２	４	１	５	３	４	１	４２	３	１	０	７４	３７
長房大会	８	８	４	１	４	５	３	０	８	２６	２	０	６９	３８
川口大会	３	１０	７	１	３	１	２	０	５	６	２０	０	５８	３４
計	９１	７６	５９	３１	６６	４９	４０	２６	１０６	６６	６０	１９	６８９	３８
遠征者数	５６	４９	３７	１９	４４	３０	２１	５	６４	４０	４０	—	４０５	
会員数	５１	３７	２７	２０	２７	２５	３３	３８	６６	４１	２７	—	３９２	

２３年度の活きいき囲碁大会の参加者数は前年の４２名増でした。そして地元会員の参加率が３８％、遠征会員が６２％で、会員相互の親睦と他流試合という面では効果があり盛り上がったと思います。

ただ今年度から団体対抗戦が取止めになったので、遠征者が少ない同好会は積極的に遠征して交流を図ってください。平成１８年度以降所属地区以外の大会に自由に参加できることになり参加者数は大幅に増えましたが、非会員の参加はわずか１９名でした。八碁連では年齢制限を撤廃したことでもあり、活きいき大会を利用して地域の囲碁愛好家に呼びかけ、会員増、市民大会の多数参加につなげたいものです。

◎第３回八碁連理事会報告

日時　　平成２４年5月２６日（土）９：００～１２：００
出席者　理事６名
議案　　1. 活性化実行委員会報告
　　2. 八碁連大会垂れ幕作成
　　「八碁連囲碁大会」「八碁連タイトル囲碁大会」「八碁連棋聖大賞囲碁大会」
　　「八碁連東浅川研修部囲碁大会」「八碁連南大沢研修部囲碁大会」
　　４．実行委員会から提出された「八王子囲碁連盟規約改正案」の審議
　　3. その他情報交換

◎手合い時計（対局時計）について

八碁連の大会では、多い人で一日五局打ちます。一日で終わらせるためには一局一時間くらいで終わらせる必要がありますが、そのために手合い時計を使います。手合い時計には大きく分けてデジタル時計とアナログ時計と二種類ありますが八碁連ではデジタル時計二種類とアナログ時計を使用しています。

時計の数が少ないので、対局に時間がかかりそうなとき、競技委員の判断で持ち時間１０分で打ってもらいます。また、決勝戦では、はじめから持ち時間３０分で打ってもらうこともあります。

時計は右側か左側か白番の人が押しやすい側に置きます。時計の上に二つボタンがありますが、自分の石を打った後、必ず打った方の手で自分の側のボタンを押します。右手で打ちながら左手でボタンを押すのは違反です。また、あげはまがあるときは、必ずあげはまを全部とりあげてからボタンを押さないとこれも違反となります。相手の時間切れに気が付いたらその場で勝ちを確認してください。両方が時間切れになるまで気がつかないでいたときは、両者とも負けとなります。もめたときは、時計を止めてすぐに競技委員を呼んでください。

昇段、昇級を望んでいる人はぜひ練習して慣れてください。はじめは相手が二人いるみたいで落ち着きませんがすぐ慣れて打てるようになります。

デジタル時計　　表示されている数字が残り時間を表します。数字が０になったら負けです。八碁連使用の時計ではは じめは時・分の表示ですが１０分未満になると、分・秒を示します。

アナログ時計　　長針から１２までが残り時間を表し、長針が１２を過ぎて、赤い針が落ちた時、時間切れ負けとなります。１時間以内の持ち時間の場合は、短針は関係ありません。

編集後記　　各地区同好会や勉強会、こども囲碁教室等について報告をください。記事についてご意見があればお聞かせください。個人で投稿される方は８００字くらいでお願いします。